

6 年	社会	「世界に歩み出した日本」 7 時間	概 要	個別最適な学び、ジグソー法、ICT ツールの活用、学習環境、振り返り	適
手 立 て	・ジグソー法を用いて、自分に合った学習内容や学習方法を選択できるようにする。 ・学習内容をテーマごとに分け、あえて学習内容を絞る。学力が高い児童は、さらに深く考察できるように、学力が低い児童は、1つのテーマで学ぶ知識を確実に定着できるようにする。 ・教室内に「資料ブース」を設置したり、NHK for school の動画をまとめたオリジナルサイトを作成したりすることで、情報を収集しやすくする。 ・ICT ツールを活用することで、意見が表出しにくい学級でも、児童の考えから学習目標を設定できるようにする。 ・常に教員はファシリテーター的立ち位置で教室を巡回し、必要に応じた声掛けをする。 ・児童に驚きを与える資料を用いて、児童の興味関心を引き出す。		児 童 の 様 子	・興味をもったテーマを選択し、調べ学習に進むことができていた。 ・一部の児童（39 人学級で 6 人程度）は、テーマの壁を越え、学習内容を網羅的に学習していた。 ・課題のある児童も、穴埋めプリントを活用しながら学習に参加できていた。 ・同じテーマを選択した児童同士で、必要以上の交流が見られ、進捗に遅延が生じた。 ・「資料ブース」やオリジナルサイトを進んで閲覧する児童は少なかった。 ・あまり意見が表出してこない児童も ICT ツールを用いて、意見や予想を入力していた。 ・多くの児童が、驚きから疑問を持つことに繋がり、興味関心をもって調べ学習に取り組んでいた。 ・調べた内容を吟味し、内容を調べていない児童にもスライドと説明で理解できる程度にまとめることができていた。	
成 果	・導入でいかに児童が興味関心をもつか、後の調べ学習の質に直結すると強く感じた。今回は、児童の意外性から学習問題を設定したことがとても良かった。 ・課題がある児童にとって、自分で学習する内容を意図的に絞ることで見通しをもって参加できた。 ・全体的に主体性をもって学習に取り組んでいた。		課 題	・ジグソー法では、進度に個人差があり、それぞれの児童に担当教員 1 人で対応するには困難が生じた。 ・「資料ブース」から進んで情報を収集する児童が少なく、教員が児童を集め、紹介することになった。初めから資料を配布するなど別の方法を取ると良かった。 ・単元で時間が決められているため、さらに調べたいと意欲をもった児童に応えることができなかった。 ・ペアで調べ学習に取り組む児童たちは、自然と仲の良い児童同士でペアを組むため、ペアで学習する良さを最大限生かしきれなかった。	

